

## ちゃりんこ旅 2012（道東）

長倉 冬彦

6月ちゃりんこ旅の募集を、会の掲示板に書いてみた。  
きっと誰も参加表明ないだろうと思っていたら、早々と千葉さんの参加表明をいただく。  
それではと思い、Mさんにお誘いのメールを携帯に送ってみた。  
しかし、いつまでたっても回答なし。メールを見ていないのかな？と思い、例会で会ったときに直接聞いてみた。  
迷っているとの回答。  
迷っている？て事は参加するって事だ。間違いない（笑）。

### ■7月4日

札幌→美幌 Mさんの軽カーで移動。  
この日は、美幌のキャンプ場に宿泊することにした。  
Mさんが春から借りっぱなしの会のテントは、冬用だった。  
出入りがちょっと面倒。だが、気にしない。



### ■7月5日

長倉、Mさん、千葉さんの順に走る。  
自然に車間距離がひらいていくが、  
途中、休憩を入れながら順調に進む。  
天気も良く、程よい暑さ。  
斜里でコンビニ弁当を買い、コンビニの脇で昼食&麦汁を摂る。  
Mさんは、セブンイレブンの【コトコト煮込んだビーフカレー  
<http://www.youtube.com/watch?v=BROZimycVL4>】  
のうまさにご満悦のご様子。  
その後も、私が先行ぎみに進むが、  
後続の二人から、だいぶ離れてしまった模様。  
止まってしばらく待つがなかなか来ない。  
あまりに遅いので、何かあったのかと思い、電話しようかと迷ったが、地道に待つ事に。  
しばらくすると、二人の姿が見えてきた。



Mさんの足がつったとの事。  
その後はゆっくりペースにし、ウトロまで、無事到着。

知床国設野営場泊 “ <http://www.mapple.net/spots/G00101125702.htm> “

さすが、知床。平日なのに、キャンプ場もそこそこ客が入っている。  
バイオトイレが、やたらと広くて快適だった。



夕食は、米を炊いて、さばみそ缶詰のぶっかけご飯。  
Mさんのコッフェルでの米炊き技術は、道内一だ！

【美幌 6:05→ウトロ 15:00 走行距離 97.5 km】

## ■7月6日

今日は、今回の旅の核心。  
標高 738m知床峠超えだ。  
キャンプ場を出て少し海岸沿いを走ると、まもなく峠の登りに入った。



交通量が少なく、走りやすい道だった。  
走っている車両は、バイク、ダンプ、レンタカーがやたら多かった。  
途中、元気なトホ（徒歩）ダーじいさんが、若干一名いた。  
Mさんは、途中自転車から降りて、押して歩き出した。  
ひざの調子が悪いらしい。  
私は峠で待つ事にし、先行した。  
途中、うつむき加減で、一生懸命ペダルを漕いでいたら、目の前に鹿が数頭いてびっくりした。  
熊じゃなくて良かった。  
ガスっており、登るにつれて、気温が低くなり、小雨模様となってきた。  
峠に付近は、雨だった。  
峠に着いて、後続の二人を待った。  
まもなく、Mさんが着き、少し時間をおいて千葉さんが無事着いた。  
あいにくの天候で、きれいな景色が拝めなかったのは残念だった。

下りは、楽しい～！50km/h オーバーだ。  
私は一人、クラウチングポーズを決め、千葉さん、Mさんを抜きトップに躍り出る！  
だけど、寒い～～～！  
あっという間に下り、熊の湯付近で休憩。  
Mさんと私、ちょっとの時間、足だけ湯に浸かる。

その後は、標津までほとんど雨模様の天候だった。

気温も低い。  
あまりの寒さに、私は途中から、フリースも着込んだ。  
Tシャツ、フリース、カッパだ。  
冬の山スキーとたいして変わらんスタイルだ。

今日もおおむね、私が先行して進んでいたが、羅臼岬の登りで、Mさんが追い越していった。  
Mさん曰く、「何か調子出てきた。」  
良かった。

標津の海岸近くのキャンプ場、しべつ海の公園 “ <http://www.shibetsutown.jp/marin.html> ” で受付をすまし、  
テント設営。  
ガスぎみの天気ではあったが、雨があがったので、  
夕食の支度は二人に任せ、私は一人トドワラまで行く事にした。  
行きは向かい風で、途中で引き返そうかと思ったがなんとかたどり着いた。



残念ながら、あいかわらずガスっていたが、道路の両サイドに海があるというのは、不思議な光景だった。  
帰りは追い風で、快調に飛ばせた。

5時過ぎぐらいにテントに戻った。  
夕食もできている頃だと思っていたが、テントに残っていた二人はさばみその缶詰をおかずに、酒を飲んでいた。  
結果的に、本日もさばみそのぶっかけご飯となった。  
千葉さんとMさんは、今日のさば缶のメーカーは昨日のよりもうまいなどと、さば缶の味批評などで、盛り上がっていたが、  
私には、どうでもいい事だった（笑）。  
缶詰の汁が残ったままになっていたので、「捨てますか？」と言ったら、  
「いや、味噌汁だから」と言って、お湯を入れて飲みだした二人には、感動した。  
缶もきれいになり、一石二鳥とはこの事だ。当然、私もやってみた。  
うまいかどうか？興味のある方はご自分でお試してください。

【うとろ 6 : 20→知床岬 8 : 45→標津 14 : 40 走行距離 83 k m】  
【標津⇄トドワラ 往復 36 k m (長倉のみ)】

## ■ 7月7日

朝の標津は、あいかわらずガスぎみで寒かった。



今日はこれから、標津→中標津→屈斜路湖と内陸に入る。  
内陸に入るに連れて、予想通り気温も上がり天候も良くなってきた。



途中、Mさんが先日のカレーが食べたいと言うので、弟子屈のセブンイレブンで昼食。  
夕食もこの辺で買っていこうと思っていたが、私のiPhoneで調べると、和琴のキャンプ場の近くにAコープがあると表示されたので、  
そこで買う事にした。

ところが、現地に着くと、そんなものはなかった。あるのは、畑と牛舎だけだった。  
とりあえず、キャンプ場にも売店があるかもしれないということで、進んだ。  
キャンプ場の手前に数店が軒を並べていたが、残念ながら、肝心のビールが置いてなかった。ガーン！  
絶望的な心境になった。

ところが、キャンプ場の管理棟に売店があり、良く冷えたビールも置いてあった。  
売店のシャッターを開けるとカラスが入ってきて悪さをするらしく、普段は閉め切っているとの事だったが、  
少しの間、開けてくれたので夕食の買い物をする事にした。  
半分程開いた入り口のシャッターから店内に入ると、コンビニにはとても及ばないが、いなかの小さな商店並には  
商品がそろっていた。  
一番最初に、さばの缶詰が目に入ったが、横にいるMさんに気づかれないうちにレトルトカレーを手にとった。

私「今日はカレーにしましょう。」



明日は、美幌までわずかな距離だ。私も結構疲労がたまってきた感じだ。  
「あと一週間ぐらいやってもいいな～」と千葉さん。まじっすか？

今日は、景色のきれいなキャンプ場で久々に夏らしい気候の中、夕食を摂り、酒を飲み、無料の露天風呂でさっぱりした。





3人そろって、タイベックシートの上に寝そべっていたはずだったが。。。私は、そのまま寝てしまった。。。  
寒くて気が目が覚めたら 22:00 だった。  
千葉さん、Mさんはすでにテントの中だ。  
あわててテントにもぐり込む。

【標津 6:40→屈斜路湖和琴半島 14:00 走行距離 88 km】

7月8日

この日も、まざまずの天気。気温は、さほど高くなく自転車日和だ。  
朝食は、昨日売店で買った”やきそば弁当”で軽く済ませます。

---余談---

この“やきそば弁当”、お湯を捨て忘れてソースをかけてしまった事があるオッチョコチョイなかたはいないだろうか？

間違っちゃってやってしまった場合、ソースラーメンだと思って食べましょう。

やってしまったものは、しかたありません。

-----



8:20 頃、美幌峠（標高 525m）に着いた。



出発前に、千葉さんが峠の売店で麦汁だな、と言っていたが、開店は 9:00 となっていた。

今日は、時間に余裕があるので（結果的に毎日が余裕だらけで酒ばかり飲んでしたが。。。）、のんびりしていたら、売店が早めにあいた。

ほたてカマボコとともにいただく。

峠から、美幌まであと 26 km。

もうひとつ走りだ。

【屈斜路湖和琴半島 6:50→美幌 11:00 走行距離 46 km】